

科目名	看護研究入門 Nursing Research: Introduction		担当教員 (研究室番号)	上田 貴子 (304)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	takako.ueda@mcn.ac.jp					
履修年次	3年次前期	科目区分	総合科目		選択区分	必修	単位数 (時間)	1(15)	授業形態	講義	科目等履修生	否
											オープンクラス	否
科目目的	看護におけるさまざまな研究の分野・理論・方法について理解し、卒業研究において各自が実際に研究論文を作成するために必要な基本的知識を学ぶ。											
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	F. 人々の健康的な生活を支援するために、必要な情報を様々な方法により収集する技能を身につけている。(技能・表現)										
	関連するDP	G. 身につけた知識を基盤に、収集した情報を科学的・論理的に分析し、人々の健康に関する課題を把握する能力を身につけている。(思考・判断) I. 自己の課題に対して研鑽する態度を身につけている。(姿勢・態度)										
到達目標	①様々な背景をもとに研究テーマやリサーチクエスチョンを自ら見つけ、その意義などを説明することができる。(I) ②看護およびそれに関連するさまざまな研究分野の理論や方法について理解できる。(F, G) ③研究目的に応じてその達成に必要な方法を選択することができる。(F, G)											
成績評価方法 (基準)	期末レポートにより評価する。基準は、内容理解の適切性(50%)、論述の適切性(50%)とする。											
再試験の有無と基準等	再試験なし											
教科書	そのつど提示する。											
参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・南裕子, 野嶋佐由美編: 看護における研究 第2版, 日本看護協会出版会, 2017. ・黒田裕子: 黒田裕子の看護研究step by step, 医学書院, 2017. ・坂下玲子, 宮芝智子, 小野博史: 《系統看護学講座 別巻》看護研究, 医学書院, 2016. ・早川和雄編: 看護研究の進め方 論文の書き方 JINスペシャル, 医学書院, 2012. 											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	講義として知識を得るに止まらず、研究テーマや具体的なリサーチクエスチョンを考え、影響するバイアスを把握して、研究目的を決定し、目的に応じた研究方法を選択する等、研究を進めるプロセスの一部を体験する。独創的な発想に期待すると共に、研究という「知」を創造するための堅実な手段について理解して欲しい。											
備考	教員が輪講の形式で担当します。教員の都合により授業開催時期が前後することがあります。											
回	学習項目				学習内容				主担当教員	授業方法		
1回	看護研究とは				4年次で履修する卒業研究への導入として、研究とは何か、その看護における意義や必要性等について概説する。				菱沼	講義		
2回	研究における倫理				看護研究における倫理的配慮の重要性、指針となる倫理の原則、特別な配慮を必要とする研究対象者、研究の各段階における倫理的課題について学ぶ。				安部	講義		
3回	量的研究〔概論〕				量的研究の研究テーマやリサーチクエスチョンの設定、研究目的の決定、研究手法の選択等研究を進めるプロセスに触れる。				大西	講義		
4回	質的研究〔概論〕				質的研究について研究課題や研究デザインの設定、研究の手順等研究を進めるプロセスに触れる。				浦野	講義		
5回	データ収集の方法①〔インタビュー〕				インタビュー調査の方法、注意点や分析方法等を学ぶ。				浦野	講義		
6回	データ収集の方法②〔アンケート調査〕				アンケート調査について、作成のための注意点やデータの処理等について概説する。				関根	講義		
7回	データ収集の方法③〔実験・計測によるデータ取得とその解析〕				実験や計測について、実施のための原則、注意点やデータの処理等について概説する。				齋藤	講義		
8回	論文クリティーク				論文の読み方を理解するとともに、関心のある分野における先行研究の内容を吟味する方法について学ぶ。				上田	講義		

学 習 課 題

第2回～第8回

関心がある研究テーマを探索しながら、課題解決に必要な手法が適切に選べるよう学習した内容を復習し身に付ける。
第8回終了後には、学習内容に基づいた期末レポートを作成・提出する。

実務経験を活かした教育の取組